

40cm後半のクロにスマイル!!



分一杯だけ払い出しにマキエサだけ入れて、仕掛けは入れません。

上げ潮になっても、払い出しに30分に一杯だけ入れていたのが良かったと思います。また、続けて同じ場所を釣るのではなく、沖を釣ったりして様子を伺い、沈み瀬を釣る時は、確実に釣って行くという作戦です。ま

また、釣友の大山氏も先端部で粘ってマダイの60cmオーバーと40cm後半のクロを一尾ずつ釣り

ロッド:がま磯インテッサGV 1.25-5.3m
ウキ止め
ウキ:釣研ゼクトM-3B
Tクッションガン玉3B 極小サルカン
道糸:サンラインテクニシャンネオ 1.75号
ハリ:がまかつ 競技くわせ5号
リール:ダイワ トーナメント ISO 2500-SH LBD

だったと思います。下げ潮は、前述の通りですが、問題は上げ潮で、クロのポイントとしては、沈み瀬回りですが、直接マキエサを入れるとエサ盗りが沈みに付いてしまい、クロは釣れないと思

最初書いた通り、1年で最も気むずかしい時期のクロ釣りです。水温も例年より高めでエサ盗りも居ます。クロが釣れないから行かないではなく、一匹でもいいので、考えて粘って釣ってみて下さい。今年はいつもの



釣りの楽しみ方だと思っています。潮が沖に出て行く時は、迷わず狙ってみて下さい。三魚種釣れば、三種盛りの出来上がりです。美味です。

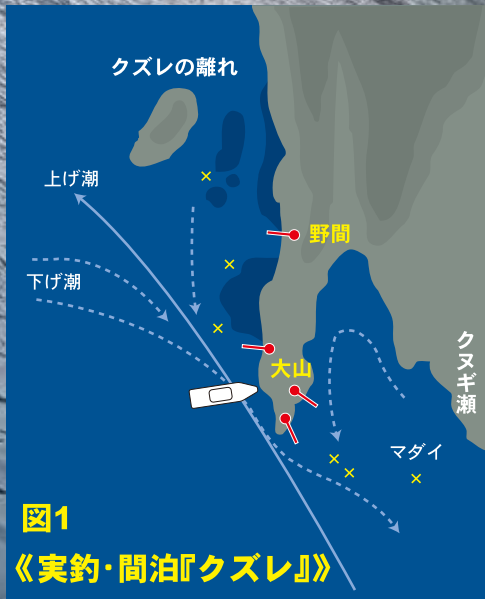


図1 《実釣・間泊『クズレ』》

ラフラ潮で、左に行ったり右に行ったりの潮でしたが、沈み瀬の回りを攻めて3尾追加して今日の釣りは終了です。実は、今回は、自分で言うのも何ですが、マキエサの打ち方で釣果に大きな差が出る釣り

大山氏も先端部で粘ってマダイの60cmオーバー



ます。「大山くん、先端部から流せばマダイが来るかも!」と勧めると、「嫁さんが、マダイを釣って来て!」と言ったらしく大山氏は先端部に、私は先端部よりも奥からの引かれ潮を狙っています。

しかし、二人とも魚の生命反応がないまま時間だけが過ぎ、タナを少しずつ深くして約2本ぐらいで、まず私にヘダイ、大山氏は正体不明の魚に、さらに私もラインブレイクを2回やらかしてしまい、しばし休憩。二人し

足元のマキエサが残ってても消えて行き、しばらくして、またマキエサを入れると、その音で、上がって来ます。そして、やっかいなことに、クロもエサ盗りの下で、同じような動きをします。これは、マズイです。

そこで、仕掛けチェンジ。ウキを3Bにしてタナは4ヒロ弱、ハリにはガン玉は打たずに完全フ

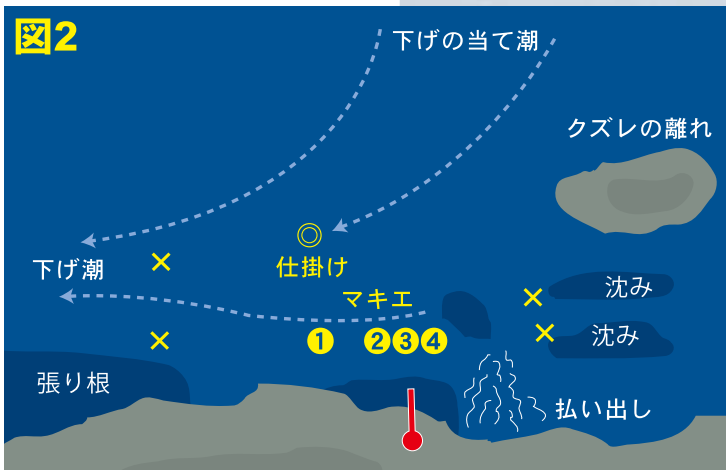


図2



エサ盗り軍団をかわして良型を手中にできた!!



間泊での配合例

《実釣・間泊クズレ》
今回は、久しぶりに釣友の大山氏と釣行です。この日は、大潮で満潮が、朝の7時過ぎ、干潮が午後1時過ぎです。早速、瀬を見て回ると、下げ潮が、正面から手前に当たってきて、先端部からクヌギ瀬の方へ流れてい

て、「あの魚は何やるかい?」と言いながら作戦変更。

私は、クロが釣りたいので船付け横の張り根の奥から、当て潮の中のクロ狙い。一方の大山氏は「マダイを釣りたい!」と言いながら先端部で頑張ります。

場所移動してビックリしたのは、エサ盗りの数です。マキエサを撒くとスズメダイとオヤビツチャ、そしてオセンが湧いて来ます。足元にマキエサを釘付けした

ると、エサ盗り軍団の動きが、出て来たら消え、また出て来たら消えるというような動きをします。おそらく水温が低いのか、潮が悪いのか、どうなのかと考えてみると、消える時は、深場に潜っていく動きです。水温が下がった感じです。

カセの3ヒロで、エサ盗りの層を突破させよう。そして、マキエサは、図2のように足元よりも竿1本ぐらい左沖に。まず①に打って、エサ盗りが来たら正面